

研修会のお知らせ

〈ケース・カンファレンス特別講座〉

「ケース教材を用いた学びの共同体作りーケースメソッド教授法の理論と実践を学ぶー」

日にち : 2009年7月5日(日)

場所 : 同志社大学室町キャンパス寒梅館203

対象 : 社会福祉の実践や教育に携わる方

ケースメソッド教授法に興味のある方 などなど

開場 : 9:30~(受付開始)

時間 : 10:00開始 16:00終了予定 ※昼休憩 12:00-13:00

参加費用 : 一人2000円(資料代込み) ※当日受付にてお支払い下さい

定員 : 20名

講師 : 竹内伸一先生(株式会社ケースメソッド教育研究所代表取締役)

慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究講師)

本事業3年目に入るケースカンファレンス講座の特別講座としまして、このたびは慶應大学大学院で教鞭をとられる竹内伸一先生をお招きし、ケースメソッド教授法の理論と実践を学ぶ一日講座を企画いたしました。昨年度は、社会福祉実践家が日々の実践の中で活用するための事例検討法について著名な講師をお招きし学びました。今回の「ケースメソッド教授法」とは、「ケース教材の利用」「参加者による議論」「直接教えない講師」「協働的な態度」をキーワードに、討議による学びを通じて自らの実践経験や専門知識を自分で体系化することを学習する事例教育法です。「ケースを検討する」事例検討法と異なり、「ケース教材はあくまでも討議を誘発するひとつのキーアイテム」としてとらえ、討議の参加者が協力しあい、その場において自らのフレームワークを点検し、専門職としての価値や理解を深める場づくりに主眼がおかれている方法です。

そもそもハーバード大学のロースクール、ビジネススクールにて取り入れられていた教育的手法ですが、日本ではいち早く慶應大学が取り入れ、現在も経営学の高等教育の中心的な教育的手法として用いられています。近年では、看護学、工学、倫理学、社会福祉学教育においても導入され、多種多領域において実践されています。

実践家としての価値や倫理を参加者と語り合い、自らのフレームワークを点検する機会として、ぜひともご活用ください。1人でも多くの実践家の皆様のご来場をお待ちしております。

●講師紹介：竹内伸一先生(たけうちしんいち)

株式会社ケースメソッド教育研究所 代表取締役

慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究講師

筑波大学大学研究センター客員研究員、(株)東レ経営研究所特別研究員

日本経営教育学会会員

1988年早稲田大学教育学部卒業、マツダ(株)入社。能力開発部、営業開発部、販売促進部などで営業幹部研修、営業マン研修に携わる。同社退職後、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程を修了(MBA)し、2004年より現職。専門はケースメソッド教育、組織行動学。現在 慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程在籍中。著書に「実践 日本型ケースメソッド教育」(ダイヤモンド社)ほか多数。

●社会福祉教育・研究支援センター・事例研究・研修プロジェクトとは

この度、同志社大学大学院社会福祉学専攻の“国際的「理論・実践循環型」教育システム”の構築が、文部科学省「組織的な大学院教育改革推進プログラム（通称・大学院 GP）」に採択されました。この文科省助成と本学社会福祉学科の卒業生からの寄付をもとに「同志社大学社会福祉教育・研究センター（Do-ERC-SW）」が2007年11月に設立されました。当センターでは主に6つのプロジェクトを柱に、さまざまな事業が行われます。

中でも、本プロジェクトは、主に二つの目的で当センター内に設けられました。一つは、本学が院生等に対し、本事業の開催を通じて、将来の職業的スキルとモチベーションの涵養に努める場と機会を提供すること、二つ目は、社会福祉専門職教育及び研究を担う本学が社会貢献を果たす一つのあり方として、社会福祉の実践現場で専門職指導を担う現任のソーシャルワーカーらに対し、現任訓練・教育に関する研鑽の機会と場を提供することです。メンバーは研究者を始め、保健・医療・福祉のさまざまな現場の実践者から構成され、各種研修の企画や運営・評価にあたります。

本プロジェクトでは、実践・教育・研究の統合の端緒を「ケース・カンファレンス」と「スーパービジョン」に見出し、今後はこれらの方法に焦点をあてた研修を提供していきます。現場の指導者の養成や現任ソーシャルワーカーの卒後教育に恒常的に役割を果たしつつ、高度専門職人の養成を目指します。

●申し込みについて（締切り：2009年6月27日 土曜日）

以下までに事前に参加希望の旨ご連絡ください。

申し込み方法：①お名前、②御所属、③現在の職種、④連絡先（住所・メールアドレス・電話番号）を必ず明記の上、以下までご連絡ください。Eメールかファックスのいずれかの方法をご使用下さい。

（なお、ご記入いただきました個人情報は、本研修会に関するご連絡の目的でのみ使わせていただきます。

●参加に関する諸注意

- ・ 本研修は、文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」（大学院GP）の助成を基に運営されません。
- ・ 毎講座終了後、参加者の方全員に研修効果の評価にご協力いただく予定です。あらかじめご了承ください。
- ・ 多数申し込みが予測されますので、当日キャンセルはなるべくお控え下さい。

●問合せ及び申し込み先

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター ケースメソッド研修担当 宛
Eメールアドレス derc-sw@mail.doshisha.ac.jp
ファックス番号 075-251-3028